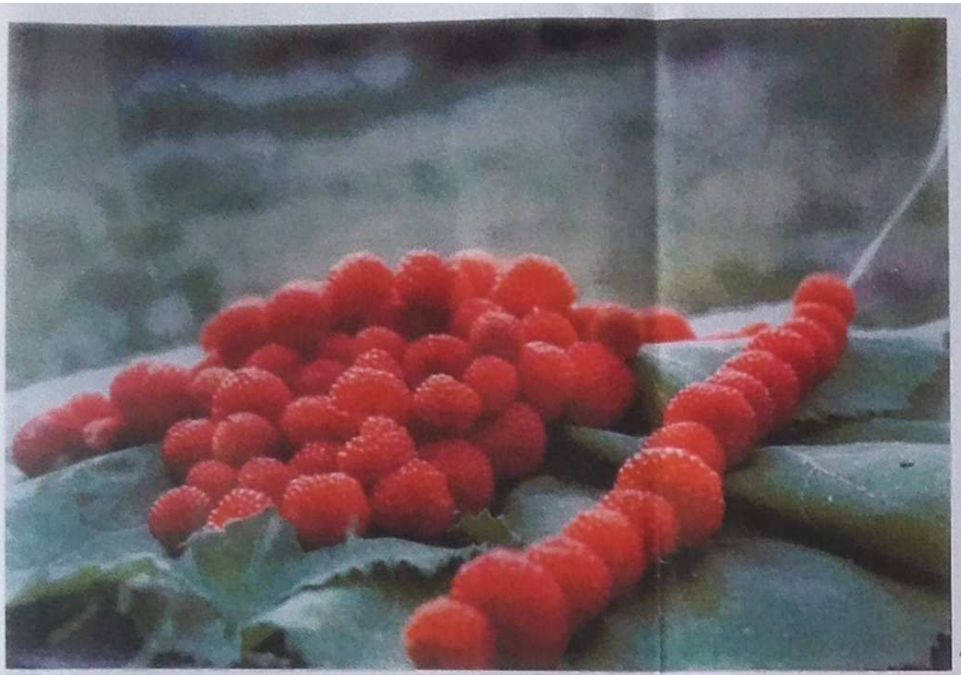
てんご新聞

'17、7、No241
発行責任 市岡田出夫
0883-88-5292

自然の"恵み"うまかった

梅雨どきは、何かと重さを感じて、散歩するにもちょっとばかり"やめようかな"なんて考えてしまう。

雨のやみ間に歩きはじめて、草イチゴを見つけた。オッ、イチゴだと、草の中に入り、一、二個獲って食べる。と、次々と赤い実がなっている。入り物を取りに帰って獲りはじめると、タッパ一杯にすぐなってしまった。それから二、三日は猿にも見つからず、自然の恵みを連日食べることが出来た。



小さい頃を思い出し、草の茎に通してみたりとワクワクしながら。写真も！どうです美味そうでしょう。

その他にもイチゴでは、サガリヌメイチゴ（ナガバモミジハイチゴ）の黄色のも時々あり、二、三個口に入れて散歩するのが、楽しみです。

それでも猿にみつかると、もうダメです。集団でいるので、なくなってしまいます。

また、この頃になると、アサギマダラを見る機会も多くなり、毎回嬉しいもんです。春の桜の咲きはじめの様な気分になります。時には、聞いた事もない鳥の声. じっとしてると十メートル位先の桜の木の上にとまる。調べてみるとサンショウクイという名前の鳥でした。一見オオルリかと見える胸の白さだが、頭の正面も白いので、違うがなかなか美しい鳥でした。

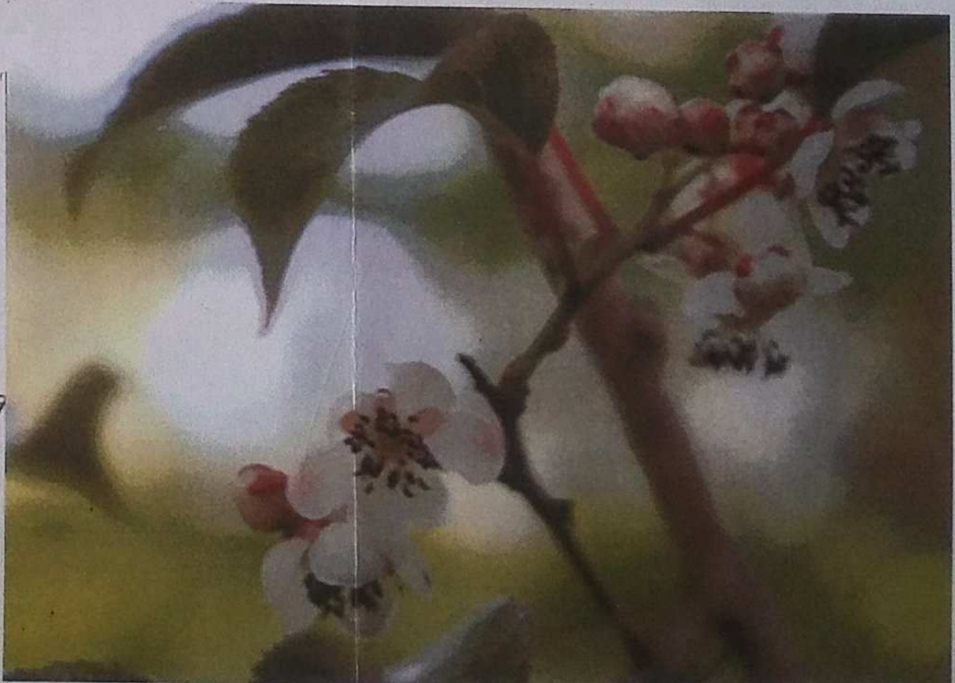
雨の中でも、楽しみはあるもんです。オオバウノスズクサという花もはじめて見ました。見つけた時は、食虫植物かとおもいましたが、違っていました。なかなかユニークな花でした。

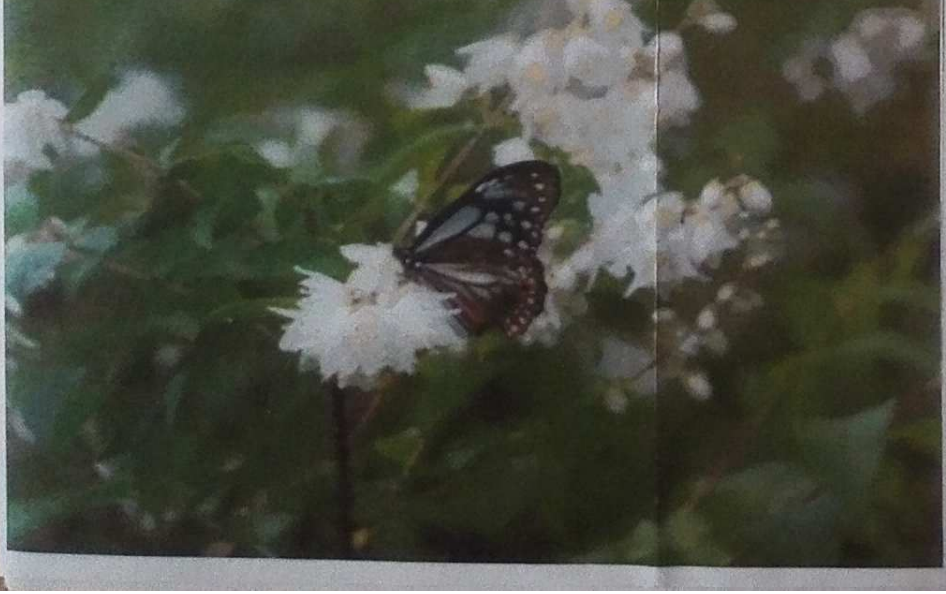
ヤマボウシも咲きはじめ、時に少しピンク色しているのもあったりします。

不思議なこともあります。白花のフジ、もう花は終ってしまってるのに、今、咲くのは、山もピンク色の花芽. 今頃咲くのも変ですが、ピンク色というのも不思議なことです。

『雨あがり 向こうの山が 近くなる』

シラクチの花→



~アサギマダラとウツギ~